



一般社団法人 都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

新会長あいさつ



この度、一般社団法人都城国際交流協会の代表理事兼会長に就任いたしました、都城市事業担当副市長の西田員敏(にしだかずとし)と申します。

ご承知のとおり、現在、日本国内における外国人居住者数は年々増加傾向にあります。令和5年12月時点において、本市では過去最多の2,215名(国際化推進室調べ)、三股町では189名(三股町調べ)の外国人住民の方が居住されています。このように、都城圏域でも既に多くの外国人の方が生活されているところですが、グローバル化の加速に伴い、今後さらなる外国人居住者数の増加が見込まれます。

こういった背景のもと、国籍や民族を異にする外国人の方と、互いの文化的ちがいを認め合い、手を取り合って地域

社会を形づくっていくためには、多文化共生の理解促進や外国人支援・相談業務、そして様々な国の人や文化と接することができる国際交流イベントの実施といった本協会の活動が、ますます重要なものになると確信しております。

昨年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により中断していた各種イベントについては、本年度から徐々に再開しておりますが、都城圏域の国際交流や国際理解、多文化共生の推進により一層寄与できますよう、今後はコロナ禍以前と同様に開催してまいりたいと考えております。

役員、会員の皆様方におかれましては、今後とも本協会への活動への御協力・御支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人都城国際交流協会
代表理事兼会長 西田員敏

「別れはより良い再会のために!」

都城市16代目の中国国際交流員、河連英でございませう。名残惜しいのですが、任期終了に伴い、離任挨拶をさせていただきます。

国際交流員として「正確な情報を伝え、一人でも多く中国に興味を覚え、理解を深め、日中友好に貢献」をミッションに活動してきました。仕事の7割以上が国際理解講座で、幼稚園児から高齢者まで延べ4899名に、年間54回、98時間以上実施しました。一方的な座学形式ではなく、皆に響くよう、参加型講座に変えてみました。民族衣装や影絵・羽根蹴り道具等の文化体験グッズを持参し、未経験の伝統楽器二胡を習い、実演するなどしました。子供達からは「重慶のことに驚いた」「中国に行ってみよう」などの手紙をたくさんもらいました。「かれんさんの中国の話が一番心に残った」との宮崎日日新聞の記事は、非常に誇らしく思います。

都城の魅力は、豊かな自然と快適な暮らしです。アヤメ、アジサイなどの花、越冬するサシバが観察できる金御岳、高千穂峰・韓国岳・大浪池など、年中登山が楽しめる霧島連山。大自然とのふれあいは多くの感動だけでなく、様々なひらめきを秘めています。

快適な生活とは、バランスの取れた食事をはじめ、心身満たされる暮らしです。食材の宅配サービスのおかげで忙しい日々でも時短で自炊でき、凄腕の美容サロンの方々と出会えたおかげで、髪質も爪の形もかなり改善されました。剣道、二胡、資格勉強などに励み、心身共に充実した毎日でした。

都城で驚いたことを2つ紹介します。

1つ目は牛の話で、すべての牛に番号がついており、親

牛の情報、出生や発育過程等、肉になるまでの情報を全部追跡できることにビックリしました。また、「美人」コンテストで優勝した雌牛は繁殖用になることと、都城で生まれた子牛が、松坂牛や佐賀牛の素牛としても出荷され、全国各地のブランド牛として育てている点は、日本人の友人に教えても、皆驚きました。

2つ目は鶏の話で、魚や馬肉ならまだしも、鶏肉も生で食べるとは初耳でした。新鮮な鶏肉の表面を炙って半生で食べる「タタキ」という料理を聞いた時は抵抗がありましたが、食べてみると違和感が全く無く、こりこりと強い歯ごたえがあつて今は好きになりました。宮崎県の定番グルメ「チキン南蛮」を初めて食べた時は、甘さにビックリしました。今は甘い味に慣れてしまい、甘くないほうを変に感じるようになりました。登山仲間に作り方を教えてもらいましたが、同じ九州でも宮崎と鹿児島は、小麦粉と卵のつけ方、甘酢の作り方が異なり、ビックリしました。

実は、私が都城ファンになった一番の理由は、人間味あふれる町だからです。剣道では先生が惜しみなく教えてくれました。地元の方が様々なグルメをご馳走してくれただけでなく、自宅に呼び、すき焼きやガネを作ってくれたり、しめ縄作りを教えてくれたりして、楽しい思い出がいっぱいできました。

足のケガで約2か月間不自由な生活を余儀なくされましたが、医師をはじめ、職場、学校、お店など、多くの方々に助けられ、都城市民の親切さ・熱心さを改めて実感しました。

仕事は終了ですが、国際交流はこれからも続けます。中国紹介だけでなく、大好きな都城のことも是非発信していきたいと思っております。どこかで再会できることを心から楽しみにしています。
別れはより良い再会のために!





日本語の決まり文句 (アメリカ人の見方から)！ ～都城市アメリカ国際交流員 セスさんによるアメリカ紹介～

ウィキペディアによると、**決まり文句**とは、「内容がだいたい決まっているフレーズ (定例句)、またネガティブな文脈ではクリシェ (常套句) と言われる日常言語の俗称。様々な場面で使われる」と定義されています。

アメリカ人の定義によると、決まり文句とは、気持ち悪いものです。具体的に言えば、「日本といった国のよく使う気持ち悪くて硬すぎて決まっている表現です。」うわああストップ!! 勿論、これは冗談ですが、本当なのはアメリカの英語では、日本語のような決まり文句等がほぼありません。一般的に、決まり文句は文化や社会によって異なります。アメリカの英語でも決まり文句や定型表現は存在しますが、日本語のように頻繁に使用される傾向はありません。まるで、存在しないと考えると個人的に思います。

アメリカの英語を理解する為には、次の3つの事を心に留めておかなければなりません。まず1つ目、英語では何かを言い繰り返すのはNGです。2つ目は、硬い言い方が嫌われる傾向があります。3つ目は、個人的な言い方が強いということです。

1つ目、英語では何かを言い繰り返すのはNGです。

例えば、同じ単語を2、3回言い繰り返す代わりに、語彙力を示すために、様々な言い方や書き方等を用います。同様の言い回しを使ってみましたが、皆様は気付いたでしょうか？ウィキペディアの定義で、「定例句」、「常套句」、そして「決まっているフレーズ」でも既に使用しました。ですので、英語のルールに従って、「決まっている表現」と書くことにしました。少しだけでも、アメリカの英語では出来る限り多くの言い換えを使う方が望ましいとされています。そして、いつも同じ事を言っている人はよく馬鹿にされています。

「Aくん: あいつの使っておる単語はいつも同じやねん。」

「Bちゃん: せやな。恐らく、教育悪かったわ。」

「いや、ちゃうで。ただのアホやろ？」

時々このレベルまでも周りから苛められます。

しかし、英語が母国語ではない方にとっては、それほど心配する必要ではないと思います。英語が誰かの第二言語であれば、せめて積極的に努力すれば充分だと思います。というわけで、ネイティブに対してより厳しくなるのももっともです。

英語では、同じ事を複数回、書くのは駄目です。皆様の今の読み取りからは、文の意味は大体一緒ですが、実際に使用された単語は異なります。

「1つ目、英語では何かを言い繰り返すのはNGです。」

「英語では複数回、同じ事を一回以上書くのは駄目です。」

語彙力が高いか、色々な文法を使いこなすかを表す為、アメリカ人はこのように書きます。英語では同じことを繰り返すのは避けるべきです。皆さんが今読んでおるとおり、意味は大体同じですが、使われる単語は異なります。また、英語ではアメリカ人が毎回異なるパターンで何かを書いたり、言ったりすることは一般的ですが、それでも決まり文句のようなものは存在しません。

2つ目は、硬い言い方を嫌がる傾向があります。

そもそも日本語と異なり、如何なる状況によっても、使用する活用形や内容が変わりません。下記の表をご覧ください。

日本語	英語
食べる	To eat
食べます	To eat
頂く	To eat
召し上がる	To eat

何かお気付きでしょうか？日本語では場面によって異なる話し方をする必要がありますが、英語では、全部同じだったでしょう？厳密に言えば、「to eat」以外に他の言い換えがあって当然ですが、何も変わりません。しかし、ニュアンス的にかなり異なります。

例えば、可能である言い換え:

To consume	何かを摂取すると。偶に激しい感じで
To gorge	お腹いっぱいまで何かを食べること

上記の定義は私自身の経験から学んだニュアンスに過ぎませんが、普通の「To eat」という基礎的な英語の動詞と比較すると、ほど遠い意味を持っているのではないのでしょうか？

もしかして、「でもセス、それだと、丁寧な英語は一体なんだろう??」と疑問に思うかもしれません。一言で言うと、「ない」です。存在しません。「ない」とはいえ、厳密的に言えば、日本語と比較すると、丁寧さに関する文化的な意味合いが異なります。

丁寧さという点で、主に2つの点が異なります。まず、第一に日本語ならば、時々何かを必ず言わなければなりません。「宜しく願ひ致します」や「ありがとうございます」といった言葉がそれに当たります。これが日本語の丁寧さです。一方で英語では、絶対に言わない言葉があります。場面により何かを言わないのは英語の丁寧さです。例えば、罵り言葉です。

丁寧さの違いの2つ目は、イントネーションです。上の表のように、「あのピザを食べる?」と「あちらのピザを召し上げますか」とは違うでしょう。英語の場合、恐らく次のようになるでしょう: 「Will you eat that pizza?」と「Will you eat that pizza?」変わらないでしょう? イントネーションだけが変われば、文のみでは通じないでしょう?

日本語と同じように文章を書いてみたら、「Would you happen to be thinking about indulging on that slice of honorable pizza?」となります。これはやりすぎて、はっきりして

いないため、アメリカ人には日本語のような丁寧さが好まれません。従って、日本語のような決まり文句はあまり使われません。

最後に、3つ目は、個人的な言い方が強い

生と死が繋がっているように、文化と言語も密接に関連しています。そして、アメリカの文化は「自由」と言われることが多く、アメリカ人の言葉遣いも比較的自由なのです。アメリカ人にとって、自分の言葉遣いと自分のアイデンティティは同じものです。そのため、日常的な状況に至るまでも毎回異なる印象を受けます。

例えば、日本のコンビニでは支払いの際に、「温めますか?」、「ありがとうございます」、そして「袋は必要ですか?」等が必ず聞かれるでしょう?アメリカでは内容が似ているかもしれませんが、次のような表現が使われます:

「Would you like it warmed up?」、「Warmed up?」、「Heated?」、「That gonna be cold?」、「Thank you」、「Thanks」、「Come again!」、「See ya!」、「Thank you for your patronage!」、「Bag?」、「Wanna bag?」、「Just like that

or? Need anything to carry it?」等を使います。沢山ありますよね?アメリカ人にとっても多いです。アメリカ人の言葉遣いがここまで異なるとあって、決まった表現が珍しいのも当然のことです。

結論

「英語では何かを言い繰り返すのはNG」、「硬い言い方を嫌がる傾向があります」、そして「個人的な言い方が強い」の3つのポイントなので、アメリカの英語では決まり文句を言いません。日本語と比べて、高いレベルである英語のイメージは違われ、丁寧な言い方に対する反応も違われ、そもそもアメリカ人の言い方はそれぞれです。

今回の記事も読んでくださってありがとうございます。また、「宜しく願い致します」

*追伸

「宜しく願い致します」に相当する英語は何でしょう?? このページの下の方に回答があります。

～協会からのお知らせ～

◇ワールド・フェスタ in みやこのじょう2024 を開催しました!

3月2日に、協会の一大会事であるワールドフェスタ in みやこのじょう2024を開催しました。

アメリカ、イギリス、中国、デンマーク、ドイツ、モンゴル、ベトナム、フィリピンの皆様、準備から最後の片づけまで、ご協力くださった全てのスタッフの皆様、たくさんのご協力本当にありがとうございました。また、多くの皆さまのご来場ありがとうございました。Thank you so much! Vielen Dank! 謝謝! Баярлалаа! Salamat po ! Tak skal du have! Cảm ơn rất nhiều !

アメリカブース



アメフト体験、ノースカロライナの唐辛子を使った激辛ソース紹介、面白いグッズ紹介など。

中国ブース



花茶の試飲、民族衣装の試着など。

デンマークブース



工作やデンマークの有名なものの紹介など。

イギリスブース



イギリスで大人気の美味しいお茶の紹介、ぬりえなど。

モンゴルブース



民族衣装の試着、シャガイ遊びなど。

ベトナムブース



民族衣装の紹介、ベトナムコーヒーの試飲、景色やベトナム語の紹介など

ドイツブース



テーブルサッカーやフェイスパイントなど。

フィリピン



手作りお菓子や料理の紹介、ゲーム、民族衣装の展示など。



*セスの問題の答え: 英語には「よろしく願いします」にあたる言葉がありません。



「世界一大きい靴」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

首都ウランバートルから東に54kmにツォンジン・ボルドグという「チンギスハーン騎馬像」テーマパークがあります。入口から入ると真正面にギネスブックに登録された世界一大きいモンゴルの伝統ブーツが展示されています。

デザイナーのノミンさんは世界一大きなモンゴルブーツを製作しました。ノミンさんは、この作品でギネスブックに登録されたモンゴル人初の女性芸術家になりました。

このモンゴルブーツを作るために、牛革225枚、ロープ4500疋、接着剤300kg、防水布180平方疋、フェルト125平方疋、林木13立方疋などを準備したそうです。モンゴルブーツにあるものを全部備えていて、高さは三階建ての建物と同じです。計36の模様が入っています。

モンゴル人は民族衣装「デール」に膝丈のブーツを履きます。モンゴルゴタルと言います。フェルトまたはレザーで作られ、つま先が上を向いているのが特徴です。これは、馬に乗ったときに足先があぶみからずり落ちるのを防ぐためだと言われています。その他にも「草や動植物を踏み殺さない」という思いやりのある解説もあります。

嘴と靴下の間の空気が冬は暖かく、夏は涼しく保つことが科学的に証明されています。



編集部より

小澤征爾さんが亡くなりました。享年88歳。大学卒業後、国内の交響楽団で指揮者として経験を積んだ後に24歳で単身渡仏。スクーターと一緒に貨物船で海を渡ったそうです。青春ですね～。いくつかの指揮者コンクールで優勝して高評価を得て、著名交響楽団の音楽監督を歴任し世界的な指揮者に上り詰めました。戦後間もない頃までは、アメリカのクラシック界ですら、ヨーロッパではかなり下に見られていたということを読んだことがあります。ましてクラシック音楽の歴史がまだ浅かった日本の若者が高い評価を得るまでには、相当の苦労があったことと思います。その辺の話は、1962年刊行の自伝「ボクの音楽武者修行」に詳しく記されているので、若き日の挑戦を再度辿って元気をもらいたいと思います。世界から愛されたマエストロのご冥福をお祈りします。

[徳留]

皆さん、こんにちは。

今回もこりずに『全国行っつつもりでぶらり旅コメント』続けますよーm(。)m今回は広島県。

広島県と言えば宮島・厳島神社と原爆ドーム、2つの世界文化遺産がありますよね!自然にも恵まれ、牡蠣など瀬戸内海の魚介類やお好み焼き、レモンなどが楽しめます。そして、野球が好きな人なら『広島カープ』を思い出すはずですよ☺

でもどうして??広島カープ(=鯉)なんだって思ったことありませんか?ドラゴンとかタイガー、イーグルみたいにもっと強いイメージの動物でもよかったんじゃないかなtt(@_@);

調べてみると、広島市内を流れる太田川が鯉の産地であったことや広島城の別名が鯉城であったこと、鯉が縁起の良い出世魚であることや上昇するイメージから名前をカープにしたのだそうです。

鯉と言えば、この前テレビで串間市にある温泉施設「串間温泉いこいの里」の池にアタマにハートのマークがある鯉が見つかって話題になっていました(@^)/~~~キュンですねえ

[西畑]

国際化推進室にきて3年。ついにワールドフェスタに携わることができました!MIAのイベントの中で最も大きく、たくさんの方が集まるイベントだと聞いていたので、ずっと楽しみにしていました。全8か国のブースそれぞれに市民の方が訪れて、交流したり、民族衣装を着ていたり、一緒にゲームをしたり、お茶やお菓子を食べてみたり…会場に来た方々が楽しそうに交流しているのを見ることができて、こちらもとても楽しい一日となりました。

[川内]

最終回のコメントは大好きな剣道について話します。剣道の魅力は、理念とおり、「人格形成」ができる修練場であり、学ぶ過程でたくさんの気づきが得られる点です。

私は、去年1月、中国重慶市の道場で剣道を学び始め、4月都城に着任してからは、地元の剣道クラブで週2-3回稽古をしました。ここには96歳の高齢な方もいれば、4段のイギリス人もいます。いつも指導してくださっている剣道の先生が忙しい時、中国出身の私とアメリカ人の仲間は、イギリス人から英語で日本の剣道を教わるという非常にユニークな国際交流の光景となります。

月に一回合同練習会のほか、お正月は「稽古始め会」があり、都城市の「武士」たちが一堂に会して練習をします。

剣道着の前の方には5つの折れ目があり、それぞれ「仁、義、礼、智、信」の五

常を意味するそうです。この「五常」は、古代中国の思想家孔子が提唱したもので、大昔、武士たちは孔子のこの思想を受け入れ、それを剣道着に反映し、言動を戒めたそうです。中国とのつながりの深さを感じました。

先生のご指導と仲間の励みをもらいながら、一所懸命練習を重ねた結果、去年12月、無事に剣道1級審査に合格し、大変うれしかったです。

[かれん]

この前、大学時代からの親友に会いに行くために、宮崎港から神戸港まで宮崎カーフェリーで旅しました。船旅は思っていたよりも快適で、温泉に至るまでの様々なことに驚かされました。温泉から出て、フェリーの自由に貸し出しが出来る図書館から借りた本を読みながら、美しい日本の波を眺めて、凄く心が癒されました。しかも、料金がヤバイほど安い!皆様も機会があれば、是非体験してみてください!

そして、大阪に到着してから、同級生である友達とたくさん楽しい活動を経験しましたが、私にとって一番心に残ったのは太鼓の体験でした。全身を使ってリズムを奏でる中、ものすごく音痴である私は必ず周りの足を引っ張ってしまったのに、先生方は皆優しく、とても楽しかったのと勉強になった経験になりました。都城でもまた太鼓の活動ができれば素晴らしいと思います!皆様の中で、太鼓サークルについてご存知の方がいれば、是非教えていただくと嬉しいです。

[セス]

みなさん、サエンパエノー!

外国人に聞くと、日本語学習方法の一つは漫画と答える人が多いと思いますが、私は日本語を勉強しはじめた時から、現在も漫画を読んだことがありません!友達をはじめ、周りは漫画を愛する人ばかりです。不思議ですが、これからは漫画を読みたくてきましたので、皆さん、おすすめの漫画があれば、ぜひ紹介してくださいね。

[ヒシゲ]

令和3年2月29日、一般社団法人都城国際交流協会の臨時理事会を開催し、新しい代表理事兼会長に都城市副市長西田員敏(にしだかずとし)氏が選出されました。任期は令和7年の総会終了時までとなります。令和5年度は、コロナ禍後、役員、会員皆様の御協力によって、色々なイベントを再開することができました。また、今年度は、理事会、総会も複数回開催することになりました。ご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

[藤元]

娘が小学校で習ったひらがなの「そ」。今はこの一筆書きの「そ」を習うんですね。私は、上がカタカナの「ソ」のようなのを書いてきました。最近若いふりをして、繋がっている方の「そ」を学校への書類などにこっそり書いています。

[迫田]

尊敬する方から『二十四の瞳』のDVDをいただき、家族みんなで見ました。大石先生の内面と外面の美しさに本当に惚れました。言葉の不自由があった大変な時期に、先生たちに思いやりを伝えていた本校の校長先生も、とても印象的でした。ユリの花の弁当箱も、減っていく濁したくない瞳も悲しかったですが、ENDも感動的でした。

[ソヨ]